

調査項目③「観光施策の在り方」

1. はじめに

箕面市の観光戦略策定には、行政だけで計画を立てるのではなく、民間事業者の力や関係者の協力が不可欠という観点から、令和4年度に箕面市観光協会が主催し「大いなる箕面観光の復活」をめざす、商業者、交通事業者、寺社、行政などによる「公民連携箕面観光戦略会議」が立ち上げられた。滝道を含む箕面観光資源や新たな観光コンテンツの発掘、既存事業の磨き上げ、参加・体験型イベントの開催などについて議論が重ねられ「箕面観光戦略」が策定されたことを受け、今後具体的に市の観光施策を進めていくために、総務常任委員会として集中的に調査、研究する必要があると考え、「観光施策の在り方」を調査テーマと決定した。

2. 調査経過

日時	活動	概要
R5. 1. 24	視察	山口県周南市 ・徳山駅前賑わい交流施設・商店街について ・公共施設再配置の取り組みについて
R5. 8. 4	分野別意見交換会	「今後の箕面市の観光施策について」をテーマに箕面市観光協会」と意見交換

3. 調査報告と提案

(1) 調査報告

山口県周南市での視察において、駅周辺に賑わいを創出するための取り組みや公共施設再配置の事例を学び、本市の観光施策の在り方や地域活性化の参考とすることを目的に調査を行ったところ、徳山駅前の賑わいの創出や、交流施設・商店街への回遊などの地域の活性化を目的とした駅前広場の整備と市立図書館、蔦屋書店、カフェ、物販の複合施設（指定管理者：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）を開設した駅ビルの再整備は賑わいが創出され、一定の効果があったものとする。また、中心市街地の活性化、公共施設再配置と統廃合の事例は、本市における箕面駅前や桜井駅前の中心市街地の再整備・老朽化した公共施設の長寿命化などの課題に役立つも

のと考える。

箕面市観光協会との意見交換会では、観光戦略策定までの経緯や目標を確認し、具体的な観光施策では、観光戦略を計画的に推進するため5年間の進捗状況を把握・管理、観光コンテンツ創出における観光資源の発掘、ニーズに合わせたツーリズム開発、二次交通を利用した回遊ルートの整備、インバウンドの対策、観光関連情報のプラットフォームの整備、構築などの意見交換をおこなった。

(2) 提案

箕面市観光協会により、本市の観光施策を考えていくうえで現在直面している課題を確認したところ、箕面ドライブウェイの渋滞と資金面の課題があるとのこと。箕面ドライブウェイは府道ということもあり、渋滞対策には大阪府に万全の対応を行っていただくことが必要となり、大阪府に対して市からの申し入れを行う必要がある。また資金面においては国の交付金やふるさと寄附金などを積極的に活用いただきたいとの要望もあった。最後に箕面の伝統的なお土産の「もみじの天ぷら」であるが、そのもととなるもみじの葉が無くなってきている。他市から調達をすれば確保はできるが大阪府からは箕面のもみじのDNAでなければならないと指定されていると聞いた。これらも大阪府に対して是正を提案しなければならないことであると考えている。

(3) おわりに

箕面滝道での観光は宿泊施設が少ないことや、後継者問題等の長年の課題がある。これらをどのように払拭していくか、今後検討していかなければならない。箕面市観光協会は本市の協力を十分得られているとの見解を示されているが、長年の課題に対して何も取り組まなければ衰退の一途を辿ると考える。本市も大阪府と連携していきながらともに考え、研究していくことが必要である。